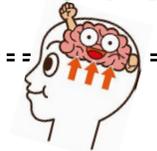




新型コロナ感染症もだいぶ落ち着き、旅行やレジャー、プール、海にお出かけなど活気が徐々に戻りつつあります。高温多湿の夏は体温調節が未熟な子どもたちには水分が多量に必要となります。また代謝が活発になるため、ビタミンやタンパク質が必要になります。元気に夏を過ごすために、十分な睡眠と規則正しい生活で免疫力をアップしましょう！！



### コラム

#### ★脳そだては順番とバランス★

「からだ脳」って何？

脳育てには、守られるべき順番とバランスがあります。最初にきちんと育てられるべき脳は、寝ること、起きること、そして食べること、からだをうまく動かすことを司る「からだの脳」です。

生まれた時には寝たきりで夜も昼も区別なく泣き、ミルクをねだる毎日ですが、1歳ごろになると、朝目覚め、夜眠り、そして起きている間に姿勢を維持して体を動かし、食事を3回摂るようになりますよね。同時に、喜怒哀楽を表情や声で表現できるようになってきます。これが「からだの脳」の育ち、すなわち第一番目に起こる脳と体の発達です。

この脳は、生命の維持装置ですから、もちろん動物たちもきちんとこの脳を働かせて生きています。大体生後5年くらいをかけて育っていきます。次に1歳ごろからは、いわゆる「お利口さんの脳」の育ちが始まります。今回のほけんだよりでは、「お利口さん脳」について続きを掲載予定です。  
(母子健康協会 ふたばNo78より)

#### 病児保育をご利用ください

##### PCR検査の必要性

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、現在は「発熱」や「咳・鼻水などの風邪症状」「下痢などの腹部症状」がみられる場合、PCR検査にて陰性を確認してからのご利用となります。ご了承ください。

##### 土曜TEL受付開始！！

週明けの月曜日に病児保育を利用したい場合など、事前のご相談やご予約ができるよう、土曜日の電話受付を開始いたします。TEL048-668-6280《土曜窓口：SSマザーリング》までお電話ください。(戸外活動中は電話に出られない場合もございます。)

## 水いぼ



### ●水いぼって何？●

伝染性軟属腫ウイルスによって人から人へうつる、7歳以下の子どもの多い皮膚の感染症です。皮膚が薄くてバリア機能の未熟な乳幼児は、まだ免疫もなく感染し易いのです。

みずいぼは掻いてつぶれたり、掻かなくてもある程度の寿命で自然に脱落して、それがまた他の皮膚にくっついてその場所に感染し、次々と広がってしまうことが多いのです。

1個できれば、その近くに数個増え、または引っ掻いた指で触ると遠くの皮膚にも感染し、次々と増えてきます。



### ●どのくらいで治るの？●

健康な子どもでは、6ヵ月～3年で自然治癒するとされていますが、個人差が大きくその患児がいつ治るかを予測することは困難です。

### ●予防できるの？●

みずいぼの予防法としては、ドライスキンやアトピー性皮膚炎のようなバリア機能が破たんしている状態をできるだけ改善しておくことです。すなわち保湿剤によるスキンケアと、湿疹の治療をきちんと行うことです。  
(日本小児皮膚学会より)

### ●水あそびは？●

みずいぼは接触感染なので、水からは移らないと言われています。肌をくっつけあったり、タオルを共有したりすることがなければ水遊びは可能です。各園保育士にご相談ください！